

# 令和7年度 年末年始労働災害防止指導会

## 「年末年始の災害防止に向けて」

---

郡山労働基準監督署  
安全衛生課 日下部 駿

# 目次

---



1. 令和7年度 年末年始無災害運動について
2. 年末年始時期の災害発生状況について
3. 災害防止に向けたポイント
4. 災害事例研究

# 1. 令和7年度 年末年始無災害運動について

## 年末年始無災害運動の趣旨

---

- ◆ 年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場の取り組み促進を図る趣旨で行われています。
- ◆ 昭和46年から中央労働災害防止協会が主唱し、本年で55回目を迎えます。
- ◆ 年末年始は、以下のような懸念点が挙げられます。
  - ・ 大掃除や機械設備の保守点検・再稼働の作業が多くなる
  - ・ 物流などの増加に伴い交通・荷役作業時の災害が起きやすくなる
  - ・ 積雪や凍結による転倒の危険が増す
  - ・ 多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなる
- ◆ 上記懸念点に対して、**非定常作業**における安全確認の徹底、作業前**点検**の実施、作業手順や交通ルールの順守が重要となります。

# 1. 令和7年度 年末年始無災害運動について

## 年末年始無災害運動実施要領

### ◆実施期間:

令和7年12月1日～令和8年1月15日

### ◆標語:

「年末」感謝の総点検 「年始」も笑顔で 無事故の発進



# 1. 令和7年度 年末年始無災害運動について

## 年末年始無災害運動実施要領(事業場の実施事項)

### (1) 年末年始に実施する事項

- ① 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- ② 安全衛生パトロールの実施
- ③ 機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施
- ④ 大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
- ⑤ 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- ⑥ 年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示

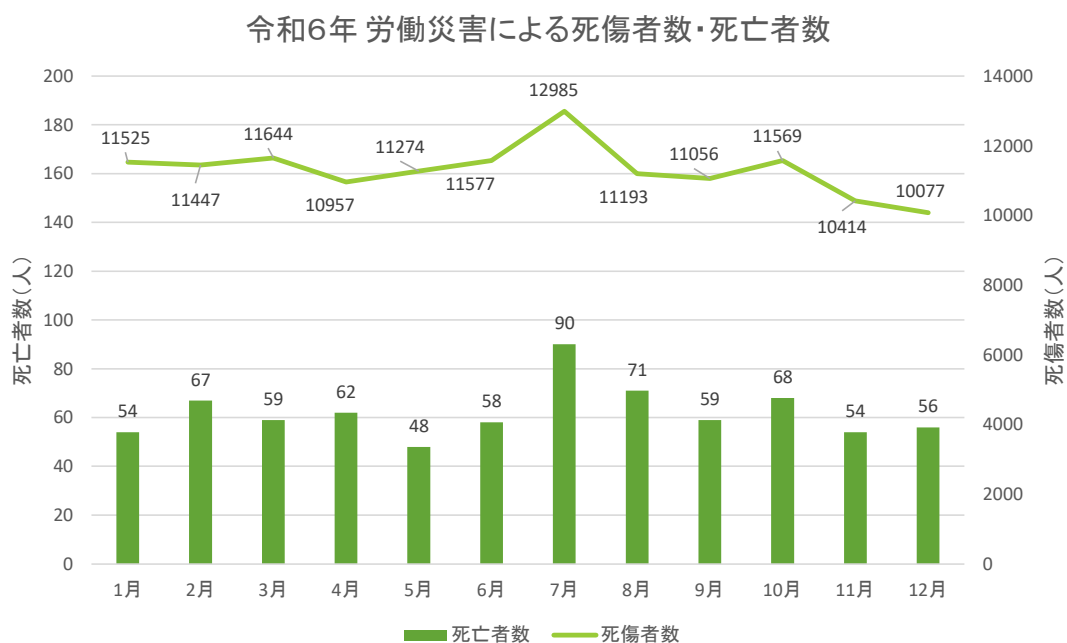
### (2) 年末年始に実施状況を確認する事項

- ① KY活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
- ② 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
- ③ 化学物質リスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底

- ④ 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- ⑤ 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- ⑥ 交通労働災害防止対策の推進
- ⑦ 働く全ての人が過重労働をしない・させない職場環境づくり
- ⑧ 高年齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣に関する健康指導などの実施
- ⑨ 感染症拡大防止対策の徹底
- ⑩ 職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進
- ⑪ 自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
- ⑫ 安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施

## 2. 年末年始時期の災害発生状況について

### 月別災害発生状況(全国)



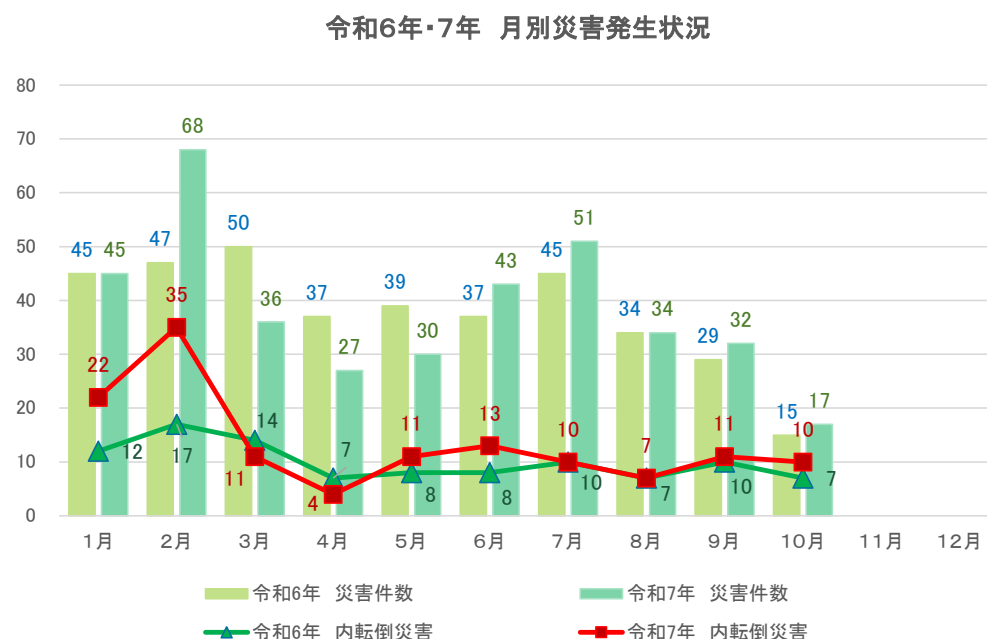
◆ 左図は全国における月別労働災害の発生状況を示したものです。

◆ 12月から1月にかけての休業4日以上<sup>1</sup>の死傷災害は、1か月当たり1万1千人ほどで推移しています。



## 2. 年末年始時期の災害発生状況について

月別災害発生状況(郡山署管内)



◆ 郡山署管内における、10月末までの災害の発生件数をまとめています。

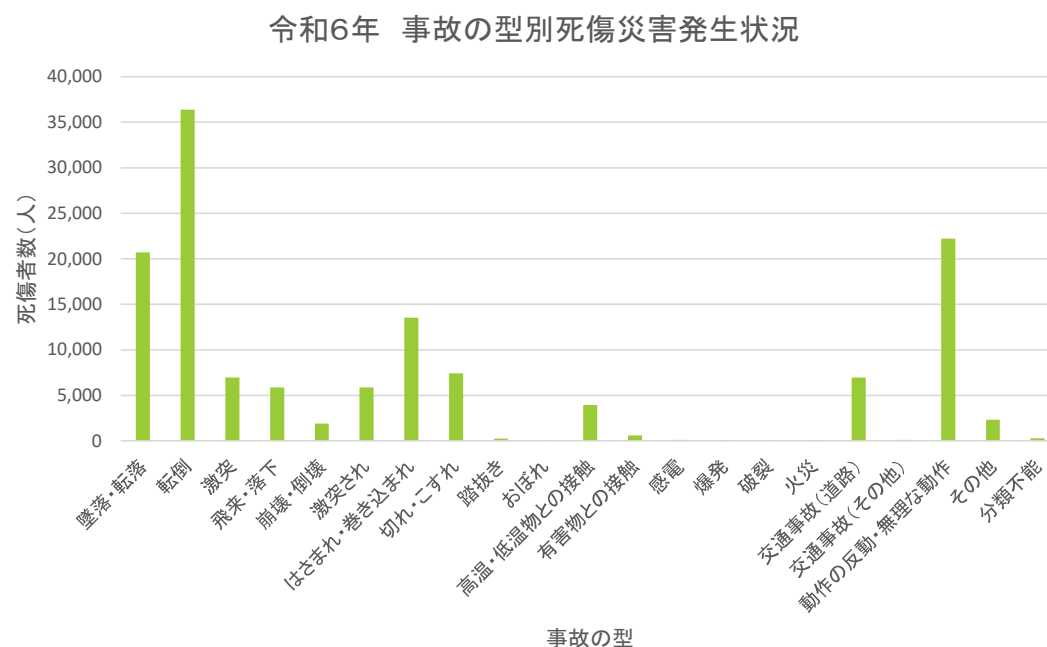
◆ 夏期は、熱中症の影響があり増加傾向ですが、冬期も災害が多く発生しています。

◆ 冬期における災害の約半数が**転倒災害**となっています。

◆ 令和7年2月は、特に積雪・凍結の影響が大きかったと考えられます。

## 2. 年末年始時期の災害発生状況について

### 事故の型別災害発生状況(全国)



◆左図は、令和6年における労働災害につき、事故の型別にまとめたものです。

◆**事故の型**とは、災害発生時の具体的状況から、傷病の原因となった「起因物」と「現象」から分類したものです。

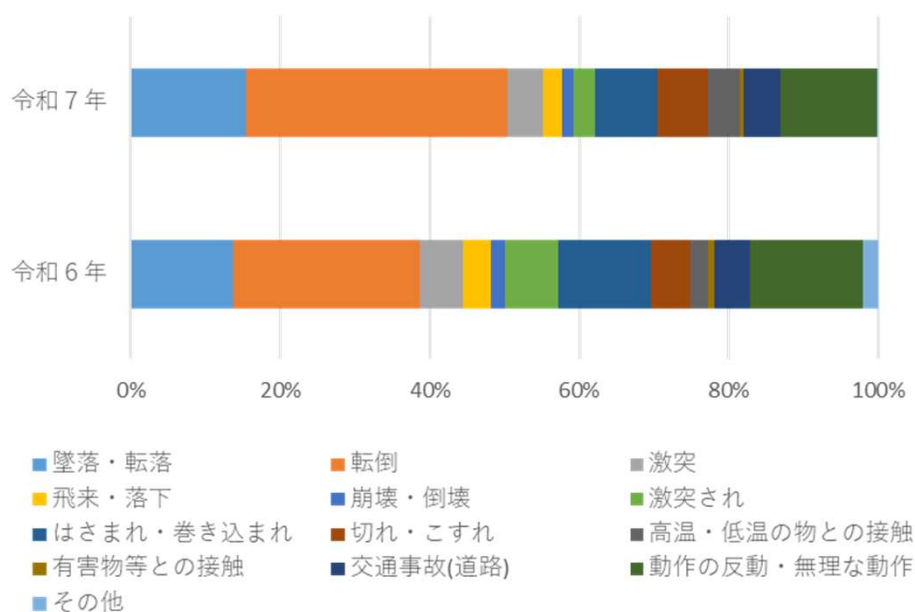
◆特に、「転倒」、「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」、「交通事故」が多いことがわかります。



## 2. 年末年始時期の災害発生状況について

事故の型別災害発生状況(郡山署管内)

3. 令和6年・7年 事故の型別発生状況



◆ 左図は、郡山署管内で発生した労働災害につき、事故の型別にまとめたものです。

◆ 令和6年、令和7年ともに、「**転倒**」が最も多くなっています。

◆ 「転倒」は、令和7年は令和6年よりも割合が増加しています。

◆ 続いて、「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」が多く発生しています。

### 3. 災害防止に向けたポイント

「非定常作業」から発生する災害

---

◆「非定常作業」による災害はどうして発生しやすいのでしょうか？

⇒考えられうる要因

- ①繰り返し作業ではないため、作業者が習熟していない。
- ②普段立ち入らない場所があるため、整理されていない可能性がある。
- ③作業実施までに十分な時間がなく、作業手順が把握されていない。
- ④作業手順に関する検討が十分になされていない。
- ⑤複数の部署が連携する場合に、事前の連絡調整が十分でなく、指揮が不明確である。

◆上記要因を取り除き、「非定常作業」に対応できる体制を整備しましょう！

# 3. 災害防止に向けたポイント

安全に作業を行うまでのフローチャート

---

## ◆ 非定常作業を行うまでの手順

### (1) 非定常作業箇所の洗い出し

・1年間でトラブルが多発した箇所を確認しましょう。

### (2) 作業計画の作成

・現場を確認して状況を確認し、作業方法やスケジュール、作業担当者を決めましょう。

### (3) リスクアセスメントの実施

・作業の危険有害性を把握し、リスクを低減しましょう。

### (4) 作業開始前に情報共有

・関係者を集め、作業内容の確認を行いましょう。

# 3. 災害防止に向けたポイント

リスクアセスメントの実施に際して

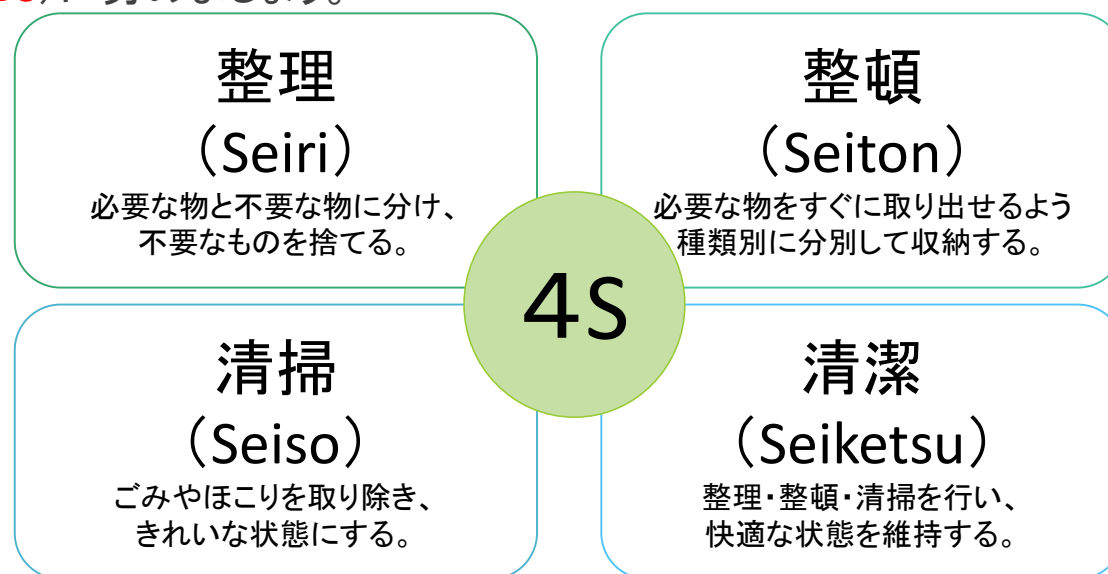
- ◆厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」では、リスクアセスメントの実施のための支援システムを公開しています。
- ◆リスクアセスメントの実施方法でお悩みの場合には、こちらを活用してみてください。



### 3. 災害防止に向けたポイント

#### 4S(5S)活動の推進

◆ 普段から4S(5S)に努めましょう。



◆ 4Sの推進により、「しつけ (Sitsuke)」が行われ、習慣化していきます。

## 4. 災害事例研究

### 危険予知訓練(KYT)

◆ 災害事例研究の一例として、

「**危険予知訓練(KYT)**」があります。

◆ 危険予知訓練とは、作業や職場にひそむ危険性や有害性等の危険要因を発見し、解決する能力を高めるものです。

◆ 主に、「KYT基礎4ラウンド法」により進められます。

「KYT」とは...

K ➡ 危険

Y ➡ 予知

T ➡ 訓練(トレーニング)

◆ KYT基礎4ラウンド法の進め方

1R どんな危険がひそんでいるか  
・イラストシートの状況にひそむ危険を発見する

2R これが危険のポイント  
・発見した危険のうち、重要と思われる危険を把握して○印をつける

3R あなたならどうする  
・○印をつけた危険のポイントを解決するための対策を出す

4R 私たちはこうする  
・話し合いにより、実施すべき対策を決定する

## 4. 災害事例研究

どんな危険があるか考えてみましょう！



台車を押して荷物を運んでいます。

◆ 想定される危険を洗い出してみましょう

.....

.....

.....

◆ 上記危険に対する対策を考えてみましょう

.....

.....

.....

## 4. 災害事例研究

どんな危険があるか考えてみましょう！



ボール盤の清掃作業を行っています。

◆ 想定される危険を洗い出してみましょう

.....  
.....  
.....

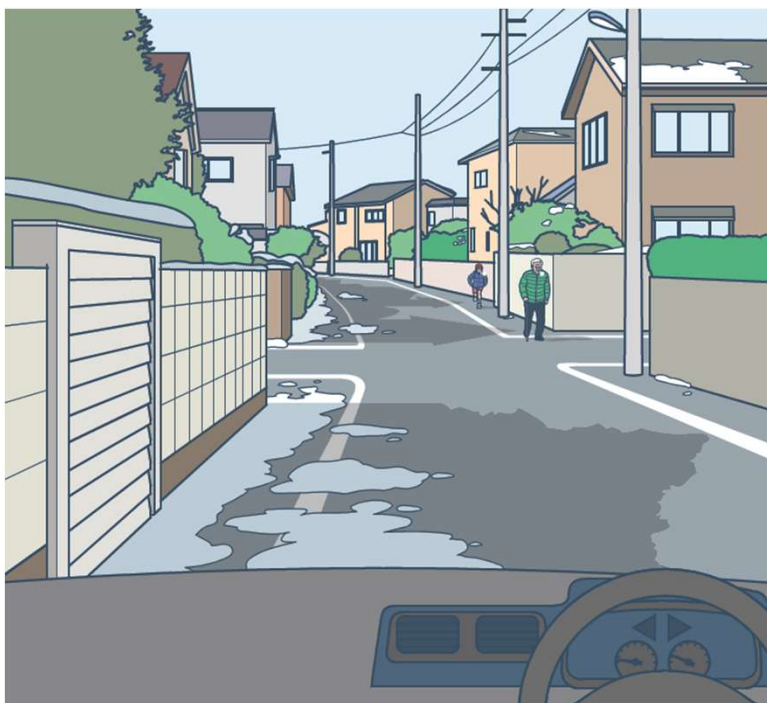
◆ 上記危険に対する対策を考えてみましょう

.....  
.....  
.....



## 4. 災害事例研究

どんな危険があるか考えてみましょう！



朝、冬季の住宅街を車で走行しています。

◆ 想定される危険を洗い出してみましょう

.....

.....

.....

◆ 上記危険に対する対策を考えてみましょう

.....

.....

.....

## 4. 災害事例研究

「職場のあんぜんサイト」の「労働災害事例」

◆厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」には、「労働災害事例集」や「ヒヤリ・ハット事例」を掲載しています。

◆事例研究の際に、是非ご活用ください。



# さいごに

---

年末年始を無事故で過ごし、  
明るい新年を迎えることができるよう、  
安全衛生活動を着実に進めていきましょう！

ご清聴ありがとうございました！

